

地球温暖化防止、省エネ ルギー対策の取り組みは

中野 敏 勝 議員

問

深刻化する地球環境問題は生態系という

自然のルールを無視した人類の利益優先の思想と行動がもたらしたもので、国境を越えて広がる環境破壊が

全ての生命を脅かし、大きな危機に直面している。温暖化の原因は二酸化炭素の排出であり、排出量の増加はエネルギーの消費である。

こうした中で、「幕別町地域省エネルギービジョン」

を発表。農業を核とした産業・一般家庭・事業所・運輸・公共団体の5部門で電力、石油、燃料ガスの消費

の現状を調査し、省エネ目標を定めて進められているが、その効果、成果、今後の取り組みについて伺う。

①基本方針に対する具体的な取り組みは。

②分野別の推進体制とその状況は。

③省エネルギー対策の教育等への取り組みは。

④実施、行動の実践は。

⑤行政の実行、効果は。

⑥住民への情報提供は。

⑦公共設備や公用車への省エネルギー導入の計画は。

⑧各種助成制度の情報の発信は。

⑨行動マニュアル等はできているのか。

⑩道の省エネルギー、新エネルギー補助事業者、募集に対しての対応は。

町長

①省エネビジョン

では、省エネ意識の醸成、省エネ型ライフスタイルへの転換、省エネ施設・設備の積極的導入の三つの基本方針を定め、幕別町の2010年の省エネ目標値を8・3%削減とした。

具体的には、省エネ教育の推進や環境家計簿の普及、省エネ情報の提供など13項目の具体的な施策を定め、これらの展開により具

現化を図っていききたい。②事業所部門の一部で先進的に進められているが、省

エネに対する認識にかなり
のばらつきがあることから、行政からの情報発信などにより省エネルギー意識の醸成を図り、そうした中で、全町的な推進体制の確立を図っていききたい。

③省エネ教育は、教育委員会を通して小中学校への働きかけを進めており、省エネルギーセンターから講師を招いて、各学校の管理職

等を対象とした講習会を開催したいと考えている。

④運送部門において、急発進、急停車を記録する「デジタルカメラ」による省エネ運転の導入やグリーン経営認証制度により環境保全活動を推進している企業。また、暖房と発電を同時に行うことができる「コージェネレーションシステム」を導入している企業等もあるこ



地球温暖化を防ぐためにも省エネ対策を進めなければならない

とから、これらの省エネ行動の裾野がさらに広がることを期待している。

⑤行政の事務事業における二酸化炭素の総排出量は平成10年度のレベルにあり、事務事業の増大やOA機器の増加を考慮すると、「エコオフィス幕別プラン」の行動計画の実施が反映されているものと考えている。

また、公共施設を中心に具体的な省エネ手法と事業化手法について、現在、検討を進めている。

⑥広報まくべつによる省エネ記事の掲載や、省エネルギービジョン概要版の全戸配布をした。9月の広報では省エネルギー普及指導員養成講座の募集をしており、その応募に期待をしている。

⑦役場庁舎や給食センターなど九つの施設について省エネ手法を検討し、導入コストや維持経費の削減に伴う回収年の試算と合わせ、各種補助制度などの事業化手法を明らかにしていきたい。また、役場庁舎ロビーに電気の消費量や使用量などが表示される省エネナビ

を設置し、省エネ行動や意識の啓発に努めていく。

公用車は、入れ替えの際に、軽自動車やアイドリングストップ車、ハイブリッド車の導入を検討したい。

⑧パンフレットの活用、省エネコーナーの設置、ホームページでの省エネコーナーの開設など、きめ細かく省エネ情報を発信していきたい。

⑨省エネ事業化検討委員会の意見を聞きながら、本町の生活風土に合わせた行動マニュアルを作成したい。

⑩省エネや新エネに関わる補助事業は、補助者と補助を受けられる事業者や個人が直接的に事務手続きを行うことから、町としての確に状況を把握できない。

